

8
月号

第355号

いっしん

平成26年(2014年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

なよ竹の
直ぐなるすがた
習ひてぞ
女の道の
こころともがな
甘本親教会
初代親先生み致



西鹿児島教会
平山茂樹先生



加治木教会 祈願祭

仕えられる

鹿児島町の町や集落の神社では日曜日ごとに「六月灯」という夏祭り仕えられ、陽が落ちると絵を描いて飾られた灯籠に美しく灯がともる季節となりました。

夏休みに入って二回目の日曜日で、子どもたちは、夏休みの宿題や、家族旅行など忙しいこと続きのようです。

そのような七月二十七日、加治木教会では祈願祭が仕えられました。

連日、最高気温は三十五度を越え、溢れるばかりの厚さのお恵みの中でしたが、教会長先生ご祭主のもと祈願祭が仕えられました。

前講では、教会長先生が祈願祭の意味合いについて、また、祈願祭を始められた小倉教会初代教会長 桂松平先生の「七生報教」(七たび生まれ変わっても、教えの道に報いる)についてのお話がありました。

本講は、西鹿児島教会 平山茂樹先生により、先生ご自身が西鹿児島教会に生まれられてから今日までの歩みについてお話し下さいました。

加治木教会 祈願祭…P1~2
「青年のひろば」講話…P2~4

バンド練習…P6

お知らせ…P7
教会行事…P8

加治木教会 祈願祭の本講では、西
鹿児島教会 平山茂樹先生により、先
生ご自身が西鹿児島教会に生まれら
れてから今日までの歩みについてお
話し下さいました。

また現在、「高齢でお身体の弱られ
た介護2のお母様（教会長先生）」と、
脳出血で半身不随になられてある介
護4の奥様の介護に当られながら御
用を進めておられ、そのことについ
て、「おかげの綱をにぎるのではなく、

神様の綱をにぎっておくことが行
き詰らない生き方となる」「自分の
力でするのではなく神様のおかけ
でさせていただくということが大
切」「信心はただ参拝するだけでな
く、み教えを毎日の生活の中で自然
に上手に生かして行くことが大切
で、そう取り組むことで信心の稽
古・修行となる、細くても長く続き
末々まで繁盛して行く信心になる
事が大切」とお話しになられました。

鹿児島地方教会連合会主催

「青年の広場」での講話

講師

平成二十六年六月十四日

金光教小林教会在籍

中村清一先生（三十五歳）



講題

『ステップ・バイ・ステップ』①

▼はじめに

小林教会は、宮崎県えびの市の東
隣に位置する小林市にあり、祖父が
昭和三年に布教して、満八十六年を
迎えます。

私は、小林教会の三代目で、信心
は父方が四代目で、母方も四代目と
なります。姉一人、弟二人の長男と
して生まれ、四人姉弟です。

小林教会には、婦人会・壮年会・
青年会・少年少女会の四つの会があ
ります。

現在、信心の継承ということが問

題となっています。

壮年会・婦人会の、五十代から六
十代の人たちは、祖父が教会長のと
きに青年会や少年少女会でお育てを
いただいた方達が中心となって御用
されています。

好きなみ教えは「父母も子どもと
ともに生まれたり育たねばならぬ子
も父母も」という、四代金光様のみ
歌で、とても感銘を受けました。

学生時代、私は両親に対し自分な
りの理想を持っていたため、ぶつか
ることがありましたが、このみ歌に
出合うことにより気づきがあり、両
親に対する思いが変わっていきまし
た。

子どもの頃の思い出として、少年
少女会でキャンプや全国大会参拝で
楽しかったことは残っているのです
が、残念ながらみ教えは残っていま
せん。

半ば押し付けられて学生会に取り
組んだ「学生時代」、勉強しようとし
て入った「学院時代」、戸惑いながら
積極的に御用に取り組ませていただ
いた「教師時代」に分けてお話しさ
せていただきます。

▼「学生時代」

母の実家が熊本市内の坪井教会でしたので、坪井教会からほど近い大学に、坪井教会に下宿して通うことになりました。

坪井教会は、大学から近いということもあり、昔から学生会が盛んでした。

高校卒業した年代から、二十歳ほどの学生年代の方たちが、集まっては信心の話や、飲み方、レクレーションなどがあっていったということです。

学生会がなくなって、二十年ほどが経ち「是非とも、学生会を復活して欲しい」ということで、在籍の先生や、昔関わってあった先生方や信者さん方も「何とかしてくれんか」ということでした。

しかし、教会で育った私でしたが、親に反発しがちでほとんど話も聞いていませんでしたので、金光教のこともよく知らず「何をしたらよいのだろうか」というところから始まったようなことでした。

当時、坪井教会の関係で、五人ほどの学生がいるとのこと、呼びか

けをして始まりました。

在籍の先生と私と、三人の参加者ほどで始まったのですが、三回目まで続き、参加者がなくなりました。

呼びかけをしても蓋をあけてみると、私一人ということになったのです。

そのため、私もどちらかというところへさせられているという気持ちでめんどろくさくなってしまいました。また、バイトをしなければ生計が立ちませんし、週末は稼ぎ時でしたのでへなんで僕がしなければならぬのか？とか、へ何のために？と疑問をいだくようになりました。

また、このとき一人になってしまい孤独感を味わい、会などの「続けて行くことの難しさ」を学ばせてもらいました。

今になって顧みますとへさせられているという思いで「神様の御用」という思いはありませんでした。

このとき「思い」や「願い」がないと、できない、続いて行かないことを感じさせてもらいました。

▼「学院時代」

大学三年の終わりに、大学を休学

して金光教学院に入学させていただきましたが、入学の動機がいくつかありました。

まず、母が送ってくれた『生きる力の贈り物』（四代金光様お言葉集・平成十三年発行）を読んでへこんな生き方になれたら楽だろうな、金光教学院に入って金光教のことを勉強しようと思わせていただいたのでした。



また、学院に入る時期について、親類に当たる金光研真先生に相談しますと「少しでも早い方が良い」とのお言葉であったのです。



さらにこの頃、大学卒業者の就職氷河期で、新卒が有利でしたので、就職を有利にするために休学して学院に行き、復学して卒業と同時に良い就職をしようと思ったのです。

学院に入ってからのことですが、青少年育成コースというのがありまして、小林教会でも青少年少女会など

をして行かねばなりませんので、そのコースを選択させてもらい勉強させてもらいました。

また、学院では「在籍外教会実習」という、よその教会で二週間ほど御用を体験させていただくのですが、私は兵庫のある教会に行かせていただきました。

その教会では、青少年少女会の雪山キャンプに参加し、良い経験させていただきました。

実習に行つて「中学生の雪山キャンプに行つてもらいます」ということでしたが、実は雪山でのキャンプもテントを張る経験ありませんでした。

バスで二時間ほどかけてスキー場跡に着きますと、雪が積もつて吹雪いていました。

かんじきを履いて、子どもたちとテントを張る班、本部のマーキーテントを張る班、穴を掘つてトイレを作る班などに分かれて作業に取りかかりました。

吹雪いていましたので、寒いし、手はかじかんでカチカチになるし、思うように作業は進みませんでした。

私はテントを張つた経験がありませんので、テント設置の指導や点検には、その教会の経験のあるリーダーが当りました。

吹雪の中での作業は思うように進まず、予定していたプログラムの雪合戦もできずじまいで、夕食の準備に取りかかることとなり、大きな鍋の中に雪を入れてお湯を沸かして、炊事の作業が始まりました。

私は、学院に入つて炊事班になつたときに、食材を切つたり混ぜたりしていましたが、夕食のカレーを作る準備に子どもたちと当たり、玉ねぎやニンジンの切り方などは教えることができ、一緒に炊事をさせてもらいました。

そのことだけが唯一へお役に立てたな」と記憶に残っていることです。

そのようにしてできあがつた料理をみんなでマーキーテントの中で食べたのですが、そのときの温かい食事の有難さは忘れることができませ

ん。これまで病気をして食べることができるようになって、食べ物の有難さを感じたことはありませんが、寒

い思いをしての中での食事は特別な有難さで、初めての貴重な経験となりました。



翌日は、朝から吹雪いていましたので、徹夜をして帰ることになりました。

教会に帰り着いてのお届け後、四才代のリーダーが、雪山キャンプを振り返って「人は天地の中では無力である」と話されたのですが、吹雪の中に寒さで体が動かなくなりどうしようもなくなる経験をしまして「ほんとうにそうだな」と感じました。

また「背伸びをしない、ありのままがいい」と話されたことも、そう思われました。

私は、雪山キャンプに、役に立てる自信のないままの参加だったので、その翌日、参加していた子どもが親に話していたこととして「中村リーダーすごいよ、玉ねぎの切り方とかキチッと教えてくれた」と聞いて、恥ずかしい思いがしたのですが、実は嬉しかったのです。

〈自分は何ができるだろうか〉という思いで参加したのですが、それでも子どもたちは喜んでくれ「背伸びをしない、ありのままがいい」のだということも学ばせてもらいました。

このときの「食物の有難さ」「人は天地の中では無力である」「背伸びを

しない、ありのままがいい」ということが、学院時代に学ばせていただいたことの中で最も想い出深いこととなりました。



「仙寿の里温泉」霧島市牧園町

(つづく)

甘木親教会布教110年記念大祭 演奏会 とめざして バンド隊練習中!

10月26日(日) 第2日が加治木教会の参拝予定日です。
御礼・喜びの参拝をおかけ蒙らせていただきますよう。

手習いの努力にまとう苦をこえて
知りそめにけり字を書く楽しみ (四代金光様)

どりよくとけいこをかさね、たのしく
えんそうしよろこびをあらわしましょう。



7月4日



7月4日



7月18日



7月18日

10月26日(日)には、**団体参拝**のおかけを蒙らせて
いただきますよう。**貸切バス**で参拝の予定です。





七月二十四日、加治木教会において教祖様ご生誕二百年信奉者集会(9/7)の第4回実行委員会が開かれました。準備の話し合いや作業が進められました。



八月のご霊神様のおまじ

- 信國禮子之霊神 昭和20・08・03
- 中島シマ之霊神 昭和25・08・06
- 西本ハナ子之霊神 平成11・08・07
- 中村宗吉之霊神 大正11・08・10
- 大重 久之霊神 昭和41・08・18
- 星原孝彦之霊神 昭和55・08・22
- 星原阿称子之霊神 平成16・08・26
- 上田ハル之霊神 平成16・08・26
- 福元チヨ之霊神 昭和28・08・28
- 小坂篤夫之霊神 昭和58・08・28
- 柳園ハナ之霊神 平成15・08・29
- 中村愛加之霊神 平成03・08・
- 樽原ヤオ之霊神 昭和40・08・30

立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げましょう。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

教祖様ご生誕二百年 信奉者集会 (9/7)では、

チャリティーバザーが開かれます。品物の準備にご協力下さい。

※チャリティーバザーは加音ホール 会議室横の工作室にて。

あしあと

加治木教会行事記録

- 7月
- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (金) さつま会 連合会 婦人教團会 10時半
- 7 (月) 仙寿の里温泉 お寄り会 14時
- 9 (水) 斎掃 御用 10時
- 10 (木) ●生神堂 大神様 月例祭 10時半
- 16 (水) 甘木親教会 教師研修会
- 17 (木) ●甘木親教会 祈願祭
- 20 (日) 多良木教会 祈願祭
- 21 (祝) 斎掃 御用 10時
- 22 (火) ●月例祭 引き 共励会 13時半
- 24 (木) 連実行委員会 加治木 教会 10時半
- 26 (土) 御用 奉仕
- 27 (日) ●加治木教会 祈願祭 11時
- 30 (水) 野口家 盃祭
- 31 (木) 斎掃 御用 10時

八月九日(土)～十一日(月) 少年少女全国大会参拝

出発 三日午後九時 帰着 五日午後七時半頃
旅費 大人 二〇〇〇円 中高生 一九〇〇円
小人 一五〇〇円 幼児 七〇〇円

八月二十四日(日) 午前六時～

家族朝参拜日

※家族勢をそろえた信心に向け、子どもたちへの信心の声かけをして、信心の継承の手がかり足がかりとさせていただきます。

九月七日(日) 午前十時～午後四時

鹿児島地方教会連合会

教祖様ご生誕二百年

信奉者集会

場所 加音ホール(第1～3会議室他)
内容

- 第①部 映画「おかげは和賀心にあり」鑑賞
- 第②部 講演・栗原一嘉先生(都城教会長)
- ※チャリティーバザーが開かれます。
- ※品物の準備をご協力下さい。
- ※昼食は各自持参、弁当注文は四〇〇円。

九月二十七日(土)～二十八日(日)

教祖ご生誕二百年記念

御本部生神金光大神御大祭参拝

大型貸切バスにて参拝の予定、光風館泊

教会行事

8月

- 1 (金) ●月例祭(報徳) 10時半
- 7 (木) 斎掃御用 10時
- 8 (金) ●月例祭(生神金光) 併せて 10時半
(大神様) 霊祭
- 9 (土) 少年少女全国大会 出発
- 10 (日) 少年少女全国大会
- 11 (月) 少年少女全国大会 帰着
- 19 (火) ～20 (水)
- 甘木親教会 婦人教師会
- 21 (木) 斎掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭(天地堂) 共励会 13時半
(乃神様)
- 24 (日) ●家族朝参拜日 6時
- 31 (日) 斎掃御用 10時
- 《未定行事》
- ※若婦人会・青年会

八月十日(日)の月例祭は、八月八日(金)に変更しています。少年少女全国大会のため。

9月

- 1 (月) ●報徳月例祭 10時半
- 6 (土) 甘木親教会信徒研修の集い 第①日
- 7 (日) 連教祖ご生誕200集会
- 甘木親教会信徒研修の集い 第②日
- 9 (火) 斎掃御用 10時
- 10 (水) ●生神金光 月例祭 10時半
(大神様)
- 13 (土) 星原家結婚式 加治木教会にて
- 21 (日) 斎掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 併せて
- 23 (祝) ●秋季霊祭 10時半
- 27 (土) ～28 (日)
- 御本部 生神金光大神御大祭 参拝
- 30 (火) 斎掃御用 10時

加治木教会 バンド練習会

〈毎週金曜 午後7時半より〉

九月七日(日)連合会 教祖生誕二百年集会 開会前演奏。

十月二十六日(日)の、甘木親教会 布教百十年記念大祭バンド演奏。

それぞれの行事に、今日おかげを蒙らせていただいている御礼の心を現わさせていただきます。